



東通村と都市部との交流事業

第1弾 ～東通村のわらしと語ろう会 2017 in 浮間小学校～



「東通村と都市部との交流事業」。14年目を迎える取り組みが、今年も動き出しました。

電力の生産地と大消費地の交流を目的に始まったこの事業は、現在、東通★東風塾（山崎孝悦 塾長）と東京都北区立浮間小学校との強い絆を中心に、様々な人のつながりや子ども達の教育プログラムに発展し、交流の輪を広げ続けています。今号から、今年度行われる「東通村と都市部との交流事業」を少しずつお知らせしていきます。

交流事業の第1弾は、6月10日（土）に東京都北区立浮間小学校で行われた「東通村のわらしと語ろう会 2017 in 浮間小学校」です。この取り組みは、毎年、東通小学校5年生が浮間小学校5年生の自宅に2泊3日のホームステイを行うもので、浮間小学校での授業参加や交流会を通じて親睦を深めながら、都市部での生活体験やホームステイ先の家族と一緒に首都圏の観光施設などを見学しています。

例年8名の募集に、今年は2倍の16名の児童が応募しました。浮間小学校で開催された交流会では、東通村から浮間小学校へ寄贈された寒立馬「結馬（ゆめ）ちゃん」模様の“べこもち”づくりを見学した後、一緒に“そばもち”を作りました。東通村のわらし達も“そばもち”を作るのは初めての子がほとんどで、都市部へ行って東通村を知るといふ貴重な体験をしました。3日間の体験を終え、新幹線の車窓から見送られた時、東通村のわらし達の目には涙が溢れました。

来年度の交流事業15周年に向け、村と東京都北区は更なる交流事業の発展に取組みます。例年実施している浮間の児童・生徒の来村も、7月4～6日には浮間中学校の2年生が村内の農園や漁協などで第1次産業の職業体験を行い、7月28日～30日には浮間小学校の5年生が東通村にホームステイします。村内で“浮間のわらし”達を見かけたら、ぜひ声をかけ、東通村の良さを伝えてあげてください。



浮間小の児童と一緒に授業参加



村の食材たっぷりのカレーで昼ご飯



自分たちで考え、村をPR

東通中学校進路講演会



講演を行う新井氏

また、新井氏が原子力エネルギーに興味を持ったきっかけ等を伝えられ、生徒たちはとても熱心に、講演の内容を聞いていました。

講演会では、夢の実現のためには、心と体の健康が大切であり、笑うことが健康に良いことや、歯・腰・目を特に大事にすること。5教科それぞれの学習のコツや、問題を解く際には、ゲーム感覚でクイズのように取り組むなど、新井氏が学生時代に大事にしていたことなどが話されていました。

東通中学校では5月19日に、新井史朗氏（東京電力H D（株）東通原子力建設所長）を招き、全校生徒を対象とした、「夢の実現のために」をテーマにした進路講演会が行われました。